



ŌMIYA NEWS



No.170 2024年4月16日 JR東労組大宮地本

鉄道営業収入の年度累計も、ゴールデンウィークのご予約状況も好調!!
厳しい労働実感の中で安全を守り、職場の努力により「コロナ禍の影響」を払拭!

■2023年度の鉄道営業収入

年度計	定期	定期外	合計	第4四半期	定期	定期外	合計
前年度比	108.1%	<u>122.4</u>	<u>118.6</u>	前年度比	108.2%	<u>111.7</u>	<u>110.8</u>
2018年比	83.9	<u>93.0</u>	<u>90.6</u>	2018年比	82.6	<u>95.8</u>	<u>92.3</u>

厳しい労働実感と度重なる輸送障害の中、お客さま対応と安全輸送の確保に向けて取り組んだ結果、鉄道営業収入は年度累計でも昨年度を上回り、コロナ前比9割超の回復を実現!!

職場の努力により、**年度累計でも前年比118.6%を達成!!**



■ゴールデンウィーク期間の予約状況

	予約席数	昨年	2018年
新幹線	84万席	75万席	80万席
在来線	22万席	17万席	16万席
合計	106万席	92万席	96万席



ご利用は順調に増加中!

予約状況はコロナ前を上回る!!

職場の努力によりお客さまのニーズにお応えした結果、既にコロナ前を上回るご予約状況を達成!

報道によると、「JR東日本の担当者は、コロナ禍の影響はほぼ払拭できたのではないかと分析している」そうです。

※共同通信社の配信記事より



「コロナ禍の影響を払拭できた」のは職場の努力とチームワークの成果だ!!
職場の努力に報いる経営姿勢と賃金の実現を求めて共にたたかおう!!